

安全データシート

作成日 2022年 3月 11日

改訂日 2023年 2月 28日

1. 製品および会社情報

製品名	メクールさらさら ヒアルロン酸・イン
品番	KM-501HS
コード	35-992
会社名	プラス株式会社
住所	〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-28虎ノ門タワーズオフィス12階
担当部門	CSR本部 品質保証部
緊急連絡電話番号	03-5860-8005
FAX番号	03-5860-8013
E-Mail	env_psc@plus.co.jp
整理番号	G05B2818
推奨用途及び 使用上の制限	紙めくり用クリーム

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

爆発物	: 区分に該当しない
可燃性ガス	: 区分に該当しない
可燃性エアゾール	: 区分に該当しない
酸化性ガス	: 区分に該当しない
高压ガス	: 区分に該当しない
引火性液体	: 区分に該当しない
可燃性固体	: 区分に該当しない
自己反応性化学品	: 区分に該当しない
自然発火性液体	: 区分に該当しない
自然発火性固体	: 区分に該当しない
自己発熱性化学品	: 区分に該当しない
水反応可燃性化学品	: 区分に該当しない
酸化性液体	: 区分に該当しない
酸化性固体	: 区分に該当しない
有機過酸化物	: 区分に該当しない
金属腐食性物質	: 分類できない
鈍性化爆発物	: 区分に該当しない

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	: 分類できない
急性毒性（経皮）	: 分類できない
急性毒性（吸入：ガス）	: 分類できない
急性毒性（吸入：蒸気）	: 分類できない

急性毒性（吸入：粉じん）	: 分類できない
急性毒性（吸入：ミスト）	: 分類できない
皮膚腐食性・刺激性	: 分類できない
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 区分 2B
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: 分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: 分類できない
誤えん有害性	: 分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性 短期（急性）	: 分類できない
水生環境有害性 長期（慢性）	: 分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル

なし

注意喚起語

警告

危険有害性情報

眼刺激

注意書き

【安全対策】

取扱い後はよく手を洗うこと。

【応急措置】

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。

【保管】

なし

【廃棄】

なし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物

成分及び含有量

成分名	CAS No.	含有量 (wt%)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)
グリセリン	56-81-5	15~25	-

ソルビトール	50-70-4	10~20	-
ポリエチレングリコール	25322-68-3	1~5	-
1,5 ペンタンジオール	111-29-5	15~25	-
脂肪酸ナトリウム	-	3~5	-
植物性セラミド	-	≤0.1	-
ヒアルロン酸ナトリウム	-	≤0.1	-
メチルパラベン	99-76-3	≤0.1	-
EDTA	139-33-3	≤1	-
色素（黄色）	1934-21-0	≤0.1	-
水	7732-18-5	残分	-

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を脱ぐこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
- 予想される急性症状及び遅発性症状 : 吸入-咳、咽頭痛。
皮膚-発赤、痛み。
眼-発赤、痛み。
経口摂取-腹痛。
- 最も重要な兆候及び症状 : データなし
- 応急措置をする者の保護 : データなし
- 医師に対する特別注意事項 : データなし

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
- 使ってはならない消火剤 : データなし
- 特有の危険有害性 : 火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
燃焼すると分解し、有毒なヒュームを生じる可能性有。
- 特有の消火方法 : 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
容器が熱に晒されているときは、移さない。
安全に対処できるならば着火源を除去すること。
- 消火を行う者の保護 : 適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具および緊急措置	: 全ての着火源を取り除く。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 密閉された場所に立入る前に換気する。
環境に対する注意事項	: 環境中に放出してはならない。
回収・中和	: 水などで湿らして飛散を抑制し、回収する。
封じ込め及び浄化方法・機材	: 危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策	: 全ての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	: 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気	: 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取扱注意事項	: この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 皮膚との接触を避けること。 眼に入れないこと。 環境への放出を避けること。

接触回避 : 「10. 安定性及び反応性」を参照。

保管

技術的対策	: 消防法の規制に従う。
保管条件	: 容器を密閉して冷乾所で保管すること。
混触危険物質	: 「10. 安定性及び反応性」を参照。
容器包装材料	: データなし

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	: 未設定
許容濃度（ばく露限界値、 生物学的ばく露指標）	: 日本産衛学会（2007年版）：10mg/m ³ （グリセリンミスト） ACGIH（2007年版）：未設定
設備対策	: この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
保護具	
呼吸用保護具	: 適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	: 適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	: 適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	: 適切な保護衣を着用すること。
衛生対策	: 取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	: ワックス状
色	: 黄色
臭い	: わずかな特異臭
融点/凝固点	: 50~70℃
沸点、初留点及び沸騰範囲	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限界及び上限界、 可燃限界	: データなし
引火点	: 100℃以上
自然発火点	: 100℃以上
分解温度	: データなし
pH	: 9~11 (1%水溶液)
動粘性率	: データなし
溶解度	: 水に可溶/アルコールに可溶
n-オクタノール、 水分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	: データなし
相対ガス密度 (空気 = 1)	: データなし
粒子特性	: データなし
その他の情報	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 法規制に従った保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: データなし
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: データなし
急性毒性 (経皮)	: データなし
急性毒性 (吸入: ガス)	: データなし
急性毒性 (吸入: 蒸気)	: データなし
急性毒性 (吸入: 粉じん)	: データなし
皮膚腐食性・刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷・	: 刺激あり (区分 2B)

刺激性

呼吸器感作性	: データなし
皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: データなし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: データなし
誤えん有害性	: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装	: 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適正な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報	: 該当しない
航空規制情報	: 該当しない
UN No.	: 該当しない

国内規制

陸上規制情報	: 消防法に定められている運送方法に従う。
海上規制情報	: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空規制情報	: 航空法に定められている運送方法に従う。
特別安全対策	: 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行うこと。 重量物を上積みしない。
緊急時応急措置指針番号	: 171

15. 適用法令

消防法 : 非該当
毒劇法 : 非該当
労働安全衛生法 : 非該当
化学物質排出把握管理促進法 : 非該当
(PRTR 法)

16. その他の情報

記載内容は安全にご使用頂く為の情報提供であって、保証するものではありません。

また、注意事項は通常取扱を前提としたものなので、これらを参考にし、自らの責任において用途、用法に適した安全対策・適切な処置の実施をお願い致します。

※本書式は、JIS Z7253 : 2019 要求事項に準じて作成しております。